



無題 (ギャラリー16 個展出品作品より) 小林伸雄

1987.8 1800mm×900mm

シナ合板に8mm角の松材を象嵌する、という行為をくり返すことによって生成した作品。
やがて、シナ合板の表面が、交錯する角材(行為の集積)によって埋め尽くされ跡形も無くなってしま
うことになっても、媒体としてのシナ合板の存在が角材と等価であることに変わりはない。